

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 川内村

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
529	1,138	90	1,757

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	2,834	2,645	190	120	26	2,816	
一般会計等	2,834	2,645	190	120		2,816	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
農業集落排水事業特別会計	96	95	1	1	67	1,034	908	
国民健康保険事業助定特別会計	435	407	28	28	36			
国民健康保険直営診療施設助定特別会計	216	205	11	11	32			
老人保健医療特別会計	70	61	8	8	5			
介護保険事業助定特別会計	274	274	0	0	50			
介護サービス事業助定特別会計	1	1	0	0	0			
後期高齢者医療特別会計	27	27	0	0	61			
公営企業会計等 計				48		1,034	908	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づきのものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足 額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
双葉地方広域市町村圏組合								
一般会計	2,864	2,740		124	38	802	36	
産業廃棄物処理特別会計	194	194						
下水道事業特別会計	157	151			6	191		
公立小野町地方総合病院組合	1,290	1,233	57	269		502		1 法適用
福島県後期高齢者医療広域連合								
一般会計	2,530	2,432	98	98				
後期高齢者医療特別会計	181,606	177,305	4,301	4,301	1,346			
福島県市町村総合事務組合								
一般会計	12,534	12,116	418	418	2,826			
消防補償等特別会計	1,727	1,727						
消防賞じゅつ金特別会計	5	3	2	2				
非常勤職員公務災害補償特別会計	25	16	9	9				
自治会館管理特別会計	13	13						
一部事務組合等 計				5,227		1,495	37	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 繰入見込額	備考
地方公社・第三セクター等 計									

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	827	916	89
減価基金	9	9	0
その他充当可能基金	963	1,091	128
充当可能基金 計	1,799	2,016	217

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	3.92	6.81	2.89	15.00	20.00	農業集落排水事業特別会計	-	-	-
連結実質赤字比率	17.30	9.66	7.64	20.00	40.00				
実質公債費比率	10.7	10.4	0.3	25.0	35.0				
将来負担比率	2.4	-	-	350.0					
財政力指数	0.31	0.29	0.02						
経常収支比率	90.9	91.2	0.3						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(-)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。